

今年度は感染症予防に努めて生徒だけの徳高祭を行いました。「できない」から「どのようにすればできるか」を考える良い機会となりました。

始業式 (9/1)



始業式では新学期を迎え、心新たに学校生活を送ろうとする生徒の様子が見られました。



人権教育 (9/2)

主人公がパラスポーツに挑戦する映画を視聴し、障害のある無しに関わらず、前を向いて生きていくことの大切さについて学ぶことができました。また、ちょうど開催中だった東京パラリンピックについての関心も高まりました。

徳高祭 (9/5・6) 生徒会企画ゲーム・定時制についてのアンケート結果展示



生徒会が中心となり、密にならず、楽しめるゲームコーナーをつくり、全日制の生徒にも楽しんでもらいました。特に北欧フィンランド発祥の「モルック」に夢中になる生徒が多く、企画は大成功でした。また、定時制生徒の学校生活と就労についてのアンケート集計結果を展示し、定時制への理解を深めてもらう機会としました。

功でした。また、定時制生徒の学校生活と就労についてのアンケート集計結果を展示し、定時制への理解を深めてもらう機会としました。



アンケート記述から〜定時制に入って良かったこと、苦労したこと〜

～10月の行事～

- 10月 1日(金) 進路指導講話
- 8日(金) 防災・救命講習/大掃除
- 16日(土) 山口県高等学校定時制通信制体育大会
- 21日(木) 中間考査(～26日)
- 29日(金) 思春期講演

山口県高等学校定時制通信制 生徒生活体験発表会 (9/25)

今年度の本校の代表として、3年井上正行さんが「人生の分岐点」という題で発表しました。「なぜ、今高校生として徳山高校定時制に通っているのか」、また、これまでの自分の歩んできた道のりを振り返りながら、「無駄なものひとつもない」「出会いを大切に」というメッセージが込められた内容でした。力強い発表で、みごと下関市長賞を受賞しました。

